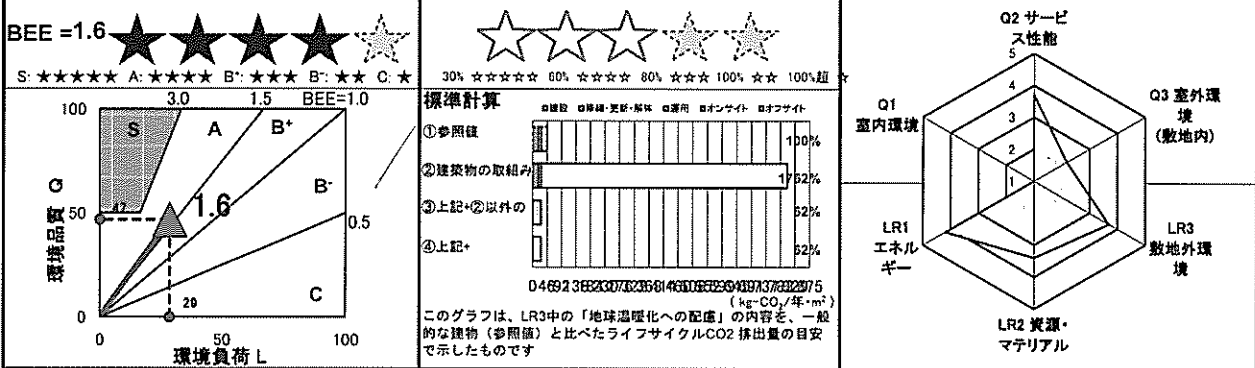


CASBEE[®]-建築(新築) 評価結果

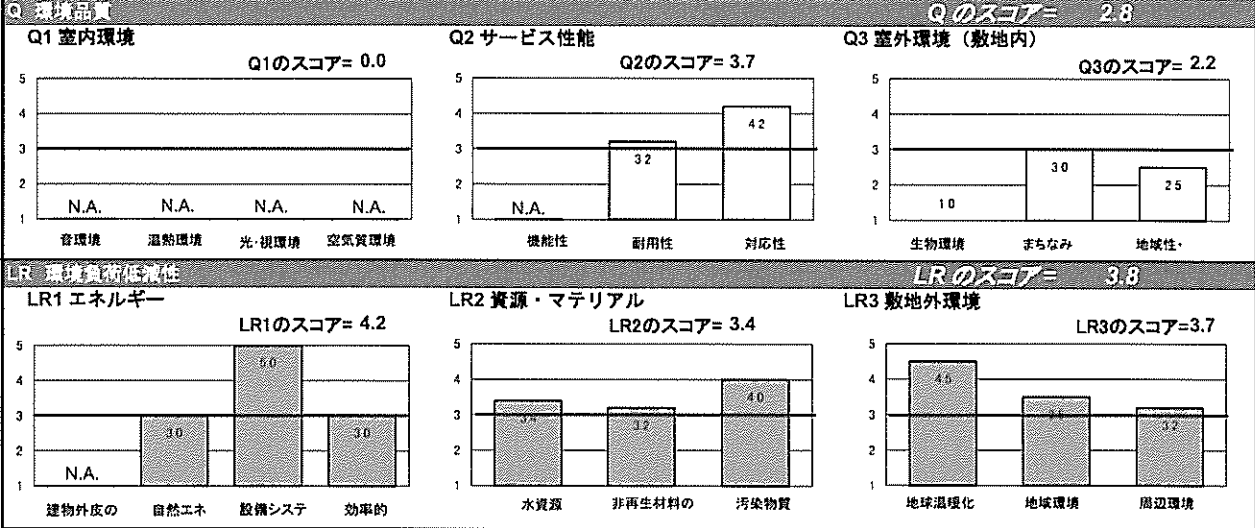
■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	SECカーボン株式会社 京都工場	階数	地上1F		
建設地	京都府福知山市長田野町3丁目26番	構造	S造		
用途地域	工場専用地域、法第22条の指定区	平均居住人員	250 人		
地域区分	5地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)		
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2024年4月 予定	評価の実施日	2023年3月28日		
敷地面積	30,614 m ²	作成者	㈱安藤・間 大阪支店一級建築士事務所		
建築面積	10,760 m ²	確認日	2023年3月29日		
延床面積	10,753 m ²	確認者	㈱安藤・間 大阪支店一級建築士事務所		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) 2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート) 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> エネルギー、資源マテリアルの確保に努めている。 更新、維持管理のしやすい設計に加え、耐用性にも優れた建物の計画。 		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
・計算対象外のため、無し。	・階高や空間の形状・自由さにゆとりを持たせ、将来の用途変更可能性を考慮した。	・可能な限り緑化に努め、周辺のまちなみや風景に調和するよう配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・LED照明設備等の高効率設備の採用等により、省エネルギー性に配慮。	・水栓器具の過半に節水仕様を採用し、水資源保護に努めた。	・ライフサイクルCO ₂ 排出量を62%に抑制し、地球温暖化対策に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される